



野比中だより

絆 きずな  
—響き合いを大切に—

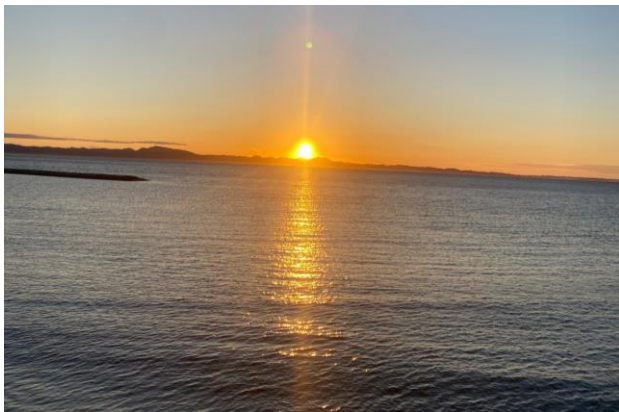
横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791



野比海岸の初日の出

## 一年の計は元旦にあり

令和6年が始まりました。元旦はとっても空が澄み渡り、すがすがしい気持ちを抱きながら、新しい年が明けました。

この数年、地元の神社に加え、鎌倉にある鶴岡八幡宮と荏柄天神社を訪れるようにしています。鶴岡八幡宮ではおみくじを引いて、家族で読み合うというのが、最近の我が家の正月の風景の一つです。

さて、今年の私の運勢は……、それはちょっと置いて、おみくじに載っていた言葉をここで披露しようかと思えます。

白雲に 羽うちつけて とぶ鶴の  
遙かに ひろき世の 見ゆる哉

おみくじの次の段にはこの詩の意味が載っていました。

高い志操は鶴のように世の人から美しいものとして仰がられる。こだわることなく

一路目標にすすみなさい。世を見透すことを忘れてはならない。低俗になれば身を傷う。

せっかく、おみくじの中で詩の意味が解説されていたのですが、それもちょっと難しい言葉なので、ちょっと色々調べてみました。

「志操」という言葉は、「自分の主義や主張などを固く守って変えない心。」という意味があるようです。ですから、

本来、しっかりした自分の信念を持っているということは、鶴が飛ぶ姿のように、高貴で美しいものである。鶴が飛ぶ眼下には、広い世界が広がっているように、自分を信じて、信念を貫くその先には、素晴らしい世界が広がっている。

というように解釈することにしました。

水泳の東京オリンピック日本代表である池江璃花子選手の言葉に「努力は必ず報われる」というものがあります。特に3年生、この時期はいろいろと苦しいこともあると思いますが、自分を信じて、信念を貫くことで、4月からの新しい生活が待っています。3年生に限らず、自分を信じる、特に自分が正しいことをしようとする心を信じるということは、とても尊いものだと思います。みなさんの活躍を祈念しながら、正月を過ごしていました。

そうした中で、夕方の突然のニュース。能登地方の震災には大きな驚きを感じました。震災により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、すべての被災者のみなさまに心からお見舞い申し上げます。

## 自分たちにできることを

1月9日の全校集会でも紹介しましたが、能登半島の地震で大きな被害にあった石川県珠洲市での中学生の活躍がニュースになりました。集会では私は中学生の活躍として紹介しましたが、実際には小中学生だったようです。

小中学生が頑張っているのは、珠洲市立正院小学校に開設された避難所です。子どもたちが他の被災者を元気づけようと壁新聞を作り続けています。その名も「正院ひなん所新聞」。身を寄せている小中学生12名が1月4日から作り始めたそうです。

新聞に掲載されている内容は、体調維持のための体操を手描きのイラストで紹介したり、炊き出しの人気メニューを発表したり、非難されている方々が楽しく読めるように工夫されているそうです。

避難所は大人を中心に介護医療班や炊き出し班などの役割を分担して運営されているようですが、子ども側からも「自分たちも何か支援をしたい」と提案し、新聞づくりが始まったとのこと。記事のテーマは子どもたちが大人の意見を取り入れながら、「編集会議」を開いて決めているそうです。

体調管理やトイレ使用の注意点など生活に役立つ情報を掲載し、長引く避難所生活をサポートしています。避難者からは「子どもが書いた新聞を見ると、笑顔になれる」と好評、子どもたちは「自分たちにできることを頑張りたい」と話しているそうです。

## 「まちづくり」の担い手として

さて、今回の震災は横須賀から遠く離れた土地である能登地方での出来事です。実際に自分事としてこの震災を捉えるのは、なかなか難しいかもしれません。

しかし、あらためて私たちが暮らす三浦半島には、北武断層をはじめとした「三浦半島断層群」という活断層の塊があります。今後、いつ大きな地震が来るかもしれません。正院小学校での小中学生のように、野比中生がこの町の人々を支える存在にならなくてはならない時が来るかもしれません。有事の際だけでなく、日ごろから「まちづくりの担い手」としての意識を野比中生がしっかりと持っていることがとても大事なことで思えてなりません。

### 令和5年度 横須賀市児童生徒書写作品展

市内小中学校・特別支援学校・横須賀総合高校の各学校から選ばれた児童生徒の書写作品・書道作品を展示します。

会 期 令和6年1月19日(金)～23日(火)  
9:30～18:00(最終日は16:00まで)

会 場 横須賀市文化会館 1階 展示室

※ 駐車場は1時間まで無料です。

※ 会場での本人の作品の写真撮影は可能です。

※ 会場混雑時には、一時入場制限をする場合があります。

### 第76回 児童生徒造形作品展

市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 計73校の児童生徒が授業でつくりあげた平面作品や立体作品・共同作品など、約3,000点を展示

会 期 令和6年1月11日(木)～29日(月)  
10:00～18:00

会 場 横須賀美術館

※ カラーのチラシを配布しました。チラシに「所蔵品展・谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展」保護者無料クーポンがついています。1枚につき2名まで無料で鑑賞できます。(市内在住または在学の小中学生及び高校生は観覧無料です。)

※ 会場での本人の作品の写真撮影は可能です。

あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり